



高校野球100年

National High School Baseball Championship



全国高校野球選手権大会は、
1915年に始まった前身の全国中等学校優勝野球大会から
数えて2015年で100年となり、2018年には100回大会を迎えます。
これを記念して、日本高等学校野球連盟と朝日新聞社は、
地方大会から全国大会までを象徴するシンボルマークを作りました。
マークは100周年限定ではなく、
選手権大会を表すものとしてこれからも登場します。

シンボルマークのコンセプト グラフィックデザイナー 佐藤 卓

ヘルメットをかぶり、斜め上を見上げる球児の頭部をシンボライズしました。そこには、優勝を目指して立ち向かう姿、バッターボックスに立ってピッチャーの投げるボールに集中する姿を重ね合わせています。そして色は青一色で、顔にあたる部分が、まだ顔として形を成していません。それは、模索しながらこれからいかに発展して、それぞれの形を成していく可能性を残していることを意味しています。つまり未完成のシンボルマークを完成させました。